

北久原

公民館だより新年号

第200号

区長年頭の挨拶 田代 吉久

区民の皆様。新年のご挨拶を申し上げます。

初めに元旦に発生した能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表します。また被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の皆様の安全と、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

改めまして、区民の皆様。新年、明けましておめでとうございます。令和六年の新春をいかがお過ごしでしょうか。今年は辰年です。皆様にとりまして干支の辰（龍）のごとく天翔ける飛躍の年、一歩でも二歩でも少しずつ前へと進む一年であってほしいと願います。

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の位置付けが昨年の五月にこれまでの「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる二類相当）」から「五類感染症」になりました。コロナ禍から日常生活に戻る過渡期に私は、区長を仰せつかり早や十か月目を迎えることができました。区長就任後、区の重要行事ごとに「四年振りの開催」が続きました。何事にも前例を調べて段取りを

進めますが、詳細な部分は協議員会で協議し、先達に当たる元区長の皆様にお教えを請いで進めてきました。敬老会を始めこれまで経験と実績に裏付けされた行事を復活又は元通りに行うことはなかなか難しく、落ち度もあったとは思いますが。いろいろな反省を踏まえて、改善し来年度以降はより良いものにしていきたいと思っておりますのでご容赦いただければ幸いに存じます。

私の目指すところは一つ。区民の皆様誰もが感じられる『楽しい北久原。住みよい北久原。（他の区に）誇れる北久原』にすることです。皆様と一緒に進めていきたいと思えます。

あと三か月ありますが精一杯職責を全うできるように努めてまいります。引き続き、区民の皆様のご協力をお願いします。

最後に、北久原公民館だよりの発行が今回で第二〇〇号を数えることができました。これまでの発行にご尽力いただいた歴代の広報部長の皆様や記事を書いて下さった皆様のお陰と心から感謝申し上げます。区民の皆様、引き続き、この公民館だよりをご愛読下さい。



令和六年のスタート

紅白歌合戦が終了した頃から、初詣の客が北久原浅間神社に集い始めました。そして新年を告げる花火の音がなり響くと、神社神殿内で区長さんなど協議員の方々が、今年一年の区内の安全と区民の健康を祈願しました。そして区長さんの挨拶の後、行列を作って待っていた区民の方々が、続々と鈴を鳴らし、初詣を行いました。



参拝を終えた初詣客は、神社社務所で「破魔矢」や「お守り」を買い求めています。そして「新春開運福引」に挑戦していきます。



今年の特等はサイクロン式の掃除機。さらに一等は電子レンジが三本、二等はティファールの鍋など豪華賞品が用意されていました。これまでは五等の赤玉の賞品がいろいろと選ぶことができたため、あれこれと迷う人がいて、品物の受け渡しで混雑が生じていましたが、今年は一つに限定したため、比較的スムーズに抽選が進んでいきました。

なかには毎年「赤」しか出ないと嘆いていた方が「銀」の玉をだし、満面のえびす顔で重い賞品を担いでいきました。



元旦マラソン
 十時半過ぎに、無事に完走できるように宮司様からお祓いをして頂いた元旦マラソンの参加者たちが、区長さんのピストルの音を合図に、一斉にコースに駆け出してきました。今年の先導車はなんと「マリオカート」です。



夜が明けて、初日の出を拝んだ後、十時から元旦祭が行われました。また元旦マラソンにあわせて初詣にきた人々もいておみくじを引いたあと、境内の木の枝に結んでいく光景が見受けられました。



そして先導車に続いて区内を一周して来たのは、昨年から参加して下さっている、静岡県市町駅伝で活躍した下合組の山下選手。今年はちよっとだけ本気を出して余裕の一位でゴールインしました。



今年の大会には、八十歳を超えた今でも元気に参加して下さっている神合組の和田さんを始め、コースの大半をパパの背中であつた幼児まで百四十名以上の方々が参加してくれました。コスプレ衣装で参加してくれる人々も年々増加して、係が用意していた記念品が足りなくなるほどでした。



元旦マラソン成績

総合一位	山下伸一
二位	鎌野成規
三位	田代健斗
小学生低学年	
男子一位	榛澤怜也
二位	黒田依知
三位	杉山瑛祐
女子一位	蔭平彩七
二位	勝又優花
三位	木田樹杏
小学生高学年	
男子一位	鎌野照也
二位	山下蒼空
三位	榛澤汰心
女子一位	藤井心陽
二位	金子彩結美
三位	谷川みのり
中学生男子一位	鎌野成規
中学生女子一位	浅井りおな
一般男子一位	山下伸一
一般女子一位	薄田美栄
六十歳以上の部一位	薄田勇夫
幼児の部一位	岩田直己

殿様講

「北久原」という地名が歴史の書物に載っている中で最も古いものは「天文十一年（一九四二年）」の「北条氏康判物写」ではないかと思われます。その書には「北久原」が古沢・小林・田中などとともに「堀和又太郎」という人物の所領として認められていたと記されているそうです。そして江戸時代から、明治二十二年に「御厨町」の一部になるまで「北久原」と村名をなのっていたようです。江戸時代幕府の直轄地だった時代もあるようですが、多くの期間、この「御厨地方」は小田原藩の領地でした。明治時代になってから静岡県に属するようになったようです。

さて、江戸時代後期に「講」が組織されるようになった頃、その講にふさわしい掛物を小田原藩家老の「吉野図書」という人物にお願いしたところ、「二宮尊徳翁」を起用して藩政の改革を行った「大久保忠真（たださね）」という小田原藩第七代藩主の言葉と解説を記した掛軸を与えてくれました。



この殿様の教えを守り、子孫の繁栄を願ったのが「殿様講」というもののようで、北久原区では毎年元旦にこの掛軸を飾って、「殿様講」を行っています。

「田美因力耕 民殷在守分」

農地が美しく作物がたくさん実るのは民が一生懸命、田畑を耕すことにあり 民が豊かに栄えるのは おのおのが自分の本分を守ることにある

というような内容が解説されているようです。



12月3日
道路河川清掃
打ち合わせを終え、清掃に
取り掛かる上組の皆さん



北久原
フォト
日記



12月3日 地域防災訓練
今年度は避難所開設訓練が行われ、避難して来た方々のスペースを区切るパーティション設置等が行われた。

12月15日～
年末の交通安全県民運動



12月16日
公民館・集会所大掃除
高い所も丁寧に！

12月27日
楽生会奉仕作業
浅間神社・軍人墓地清掃
新年を迎える準備が着々と！

1月5日
下合組秋葉講





道祖神に無事を祈願



今年の富士山は雲の中

1月13日
さいと焼き



大炎上

組長が着火



団子を焼きにきた家族



夕闇が迫る中で



いきいきサロン北久原
十二月のいきいきサロンは恒例となっているティンカーベルの皆さんによるクリスマスコンサート。そしてサンタクロースが登場し、サロンの会員にクリスマスプレゼントを手渡してくれました。ティンカーベルには新しいメンバーも加わったそうで、指揮をする先生も含めて、九人で演奏してくれました。

サンタの
プレゼント





こまった時には「ほうかつ」へ相談

御殿場市地域包括支援センター
御殿場十字の園

☎84-5950

こんにちは！包括支援センターです

「感染症に注意しましょう！」

全国的にインフルエンザの流行が続いています。また、新型コロナウイルス感染症も増加しています。御殿場市は、静岡県内の他地域と比較してインフルエンザや新型コロナウイルス感染症の罹患率が高い状況です。しっかりと感染予防をしていきましょう。

うがいや手洗い、手指消毒用アルコールでの消毒や室内が乾燥しないよう湿度の調整をしましょう。また、十分な食事を摂って、身体の免疫力を高めることも大切です。

編集後記

新年号の作成は毎年のことながら締め切りに追われてハラハラしどうしです。新年の行事が続く上に、「さいと焼き」までは掲載したいと考えるので、「さいと焼き」の日程によつては、校正の時間の確保が難しくなってしまう。という言い訳を書き連ねながら、なんとか令和五年度「公民館だより」のすべての編集を終了することができました。区民の皆様のご協力と声援のおかげです。本当にありがとうございます。

さて、「元旦マラソン」の参加賞の写真をプレゼントしたいと思い、全参加者分をプリントアウトして公民館ロビーの壁面に展示させていただきました。公民館にお越しいただき受領なさっていたければ幸いです。画鋏で留めてありますので、抜いて画鋏は近くに設置してあるボックスに入れて下さい。

当日記念撮影を申し込まれた方と上位入賞者の方々の写真は2Lサイズ、その他の方々の写真は1Lサイズとなっていますが、「孫のこの写真を2Lサイズで欲しい」とか「もつと他の写真はないの」というような方がいらつしやれば、遠慮なくおっしゃってください。さすがにA4サイズは有料となりますが、できるだけご要望にお応えしていきたいと思っております。

元旦マラソン参加賞個人写真



ところで、御殿場小・東小の生徒を対象とした「みくりや将棋教室」というものがあります。その教室の関係で、青野照市九段という焼津出身の棋士を招いた将棋教室を、一月十四日に北久原区公民館を会場にして開催させていただきました。会場や駐車場が広く、保護者の方々には好評でした。その青野先生のお話によると、今年の十二月に、今話題の藤井聡太八冠の師匠である杉本昌隆八段をお招きした講演会を、市民会館大ホールで開催する計画が進められているそうです。

(伊藤記)

令和6年1月7日

北久原区 二十歳の集い



新成人代表挨拶

この度は、私たち新成人のために、このような式典を催していただき、誠にありがとうございます。

北久原区長様をはじめ、来賓の皆様方にはご多忙の中、足をお運びいただけましたこと、心からお礼申し上げます。

本日、無事に成人式を迎えられたことを本当に嬉しく思います。二十歳になるという人生の節目を迎え、これまで支えてきてくれた友人や地域の方々、皆様のおかげで今の私たちがあります。

また私が悩んだり、行き詰まってしまった時に、いつでもそばで、話を聞いてくれたり、したいことを全力で応援してくれた両親には感謝の気持ちでいっぱいです。

私は、現在東京の大学で法学を勉強しています。将来はその培った法学の知識を最大限に発揮しながら、御殿場市の役に立てる仕事に就きたいと考えています。

私たちはまだまだ「大人」としては未熟な面もありますが、いろいろな事を経験し、失敗する中で本当の「大人」になれるよう、日々精進していきたいと思います。

最後になりますが、まだまだ未熟な私たちに、今後より一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

令和六年 一月七日



北久原区新成人代表 関口航志